



本社・工場取得

発行日 平成19年3月21日

発行責任者 堀清憲

目次:	①お客様ご紹介	②染料物語	③社員紹介
-----	---------	-------	-------

①石川県金沢市のお客様「近江町市場」

・「食べて学ぶ」を考える…

食べるという欲は、人間が生きて行く中で、最も本能的な欲求のひとつです。生鮮食品の買出しをするとき皆様はどこへ出かけるでしょうか？最近には俗に言う「スーパー」に出かける方が大半なのでしょうね。「品揃え、鮮度、安さ」流通革命が起こり、どこのスーパーに出かけようと、この三つは今や当たり前になってきています。

ですが、ひと昔前を思い出してみてください。近所の八百屋、魚屋、〇〇屋と言った商店が元気だったころを…食べ方がわからない野菜、魚、今日のおすすめの食材、調理の仕方。今、一番美味しい食材を教えてくれていたのではないのでしょうか？また、「少しまけて」や「もう少し勉強して」なんてことも日常に行われていた楽しみの一つだったような気がします。

最近よく耳にする言葉で「食育」という言葉があります。平成17年に食を通して育てる食育基本法が成立しました。その中の前文の抜粋を紹介します。

「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付けることによって、心身の健康を増進する健全な食生活を実践するために…

と、言う文章があります。商店で買い物をしていたころは、知らず知らずのうちに「食」について、いろいろなことを学び、次の世代に継承していた時代だったような気がします。

・「近江町市場」とは…

そうです。近江町市場は「品揃え、鮮度、安さ」はもちろん、買い物の楽しさを五感全部で体験できる市場なのです。170店舗の活気、威勢のいい掛け声、お客様との面白い値引き交渉。「どうやって食べるの？」と聞いてみてください。きっと親切に教えてくれるはずです。最後に金沢弁で… 近江町へいってみまっし。。

近江町市場春祭り 4月16日～4月21日(予定)

近江町市場商店街振行組合様ホームページ <http://ohmicho-ichiba.com/>

・近江町市場と当社との歴史

土産箱(ひも付きBOX)がこの世に生を受けたのは昭和55年。あるお客様から、「手提げで、持ち運びの容易な発泡スチロールの箱があると売れそうだな」と、ヒントをいただき、すぐに開発に取り掛かりました。

“手提げ”といってもその当時なかなかいい案が浮かんできませんでした。いろいろ試行錯誤し完成したのが北陸初の土産箱のMB-11です。

しかしながら思うように売れ行きは伸びませんでした。沢山のお客様にサンプルを配り、便利さ、鮮度保持の必要性等、日々地道なPR活動を展開し、少しずつ出始めるようになってきました。そんな中、金沢のウロコ水産様にPRに行った所、近江町市場冷蔵庫協同組合専務理事、綿貫様を紹介して頂きました。そうした所、すぐに採用していただけたようです。

近江町様とは縁があったのだと思います。もちろんその時代の諸先輩方の苦労や、努力の賜物ですが…

それからと言うもの、近江町市場様から、いろいろな要望、貴重なご提案、ご指導をいただきました。当時から、「お客様の要望するものづくり」を念頭に努力し、その甲斐あって、日本で最も多い種類の土産箱(28機種)を出すことができました。それから30年近くの月日が流れましたが、今も大変お世話になっているお客様です。今後ともよろしく願いいたします。



購入したカニを詰めている様子(MB-13)

②染料物語 第2回 植物染料の効用

前回ちょっと書きそびれちゃったんですが一般の方が木綿や、毛糸を染め直して使った話を書きましたが、染料を定着させるのに、あるものを使うんです。それは家庭にあるものですよ。答えは、木綿には塩を、毛糸には酢を使うんです。何でかーという色止めにするんですよ。完全に吸収させて定着させます。しかし、いきなりどーんと入れるとむらになっちゃいますから気をつけましょう。



営業部長 広田勝男

さて今回も天然染料(植物染料)のことを書いてみましょう。植物染料は古くから野や山の色素を利用して布を染めて来ました。この染め方が今注目されています。エコロジーブームの中で植物染料の機能を再発見して生活に役立てようとするためです。植物染料には、防虫や薬用の効果があるものが多いようです。あの有名な藍は毒虫やマムシ避けになるんです。それで野良着に使用(若い人にはわからないかな)されたらしい。茜は婦人病や神経痛に効くため腰巻(これもわからないだろうな)に使用されたと聞いています。きはだやセンブリは漢方薬で有名ですね。これで染めた紙は、防虫効果があって、昔は重要な文書はこの紙を使用したそうです。



藍

藍は蓼科(タデカ)の植物。

あおいろ(青色) → あいろ → あい

のように青色からあいに変化したといわれる。

古くから布を藍色に染める材料として、栽培されている。

英語では Indigo とか Indigo Blue。ジーンズを染めるのにも使われる。

キハダ(ミカン科)雌雄異株の落葉喬木の内皮(樹皮)を健胃薬とするほか、材は木目が美しく、狂いが少ないので机や家具などに利用されるほか、輪切りにした幹は菓子器や盆などの工芸品として活用されている。現在、安塚町や能生町等の一部では栽培が、松代町や能生町等の一部では、野生採取も行われている。

生薬名:オウバク(黄柏)

薬用部:中皮効用:苦味健胃薬、打撲症用法:1日1~3gを煎じ又は粉末にして服用する。

採取時期及び処理:梅雨期から土用にかけての水分があがっている時期に木を切り、上皮をはぎとり日乾する。



キハダ

③社員紹介 三田村政則(33歳)

はじめまして三田村です。製造部で工場を任せられ、皆と共に日々発泡スチロールを造っています。



2年ほど前の私は、頭の毛が茶色でした。今は純黒になってます。白髪も少し...

ちょうどこの写真を撮り終わった直後、いつまでも成長しない僕を社長が見兼ねて、「管理者養成学校の地獄の特訓へ行って鍛え直して来い。」と、送り込まれました。それをきっかけに、今では自他ともに認める凄いいい青年になりました。

編集している堀は、これを読んで“アホ”と、言っていました。

冗談はこのくらいにしまして... 今後とも松原産業をよろしく願いいたします。 以上



製造部工場長 三田村政則
平成19年3月現在

編集後記

立春が過ぎ、東京では桜が咲きました。桜の花が咲くと、ワクワク、ウキウキと言う気持ちになるのは私だけではないと思います。福井の開花はもう少し先になりそうですが...

暑さ寒さも彼岸までと言う言葉がありますが、まだ少し肌寒いですね。地球温暖化防止、温室効果ガスの削減、最近特に聞くようになったように思います。四季があるから寒く、四季があるから暑い。当たり前が当たり前では無くなる危機に直面しています。このすばらしい日本、地球を子孫に残すのが私達大人の義務なのだと思います。

今も昔もノンフロン。地球の環境にやさしい発泡スチロール。発泡スチロールは98%が空気です。宣伝しませんでした...(--;)

松原産業株式会社

営業品目

スチロール成型品、パイナルコンテナ
パイナルフォーム、染料、工業薬品
包装資材、接着剤、高分子凝集剤

本社工場 福井県越前市矢放町4-7

和田山工場 兵庫県朝来市和田山町野村

電話:0778-22-0848 FAX:0778-24-4790

Eメール:info@matsubara-sangyo.jp

HP:http://www.pinalform.jp

休業日のご案内 2007年4月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	⑦
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	⑳
㉒	23	24	25	26	27	28
㉙	⑳					

堀清憲